

未来医療研究人材養成拠点形成事業

オール新潟による 次世代医療人 の養成

Development Center of Medical Professionals
for Next-generation



新潟大学医歯学総合病院



ご挨拶



プログラムリーダー
鈴木 榮一

「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムは、平成25年度に文部科学省が公募した未来医療研究人材養成拠点形成事業の中のテーマB「リサーチマインドを持った総合診療医の育成」に、新潟大学が新潟医療福祉大学、新潟薬科大学を連携大学として応募し、選定されたものです。

プログラムの目的は、全国に比し高齢化を20年先取りしているといわれる新潟県において、異なる職種を養成する医育機関が連携し、さらには地元自治体、地元医師会など様々な関係機関と連携することで、次世代に活躍できる医療人を育成していこうというものです。

急速に高齢化の進む社会では、たとえば肺炎が平成23年度以降死因の第3位に上がってきたように、高齢者に多く見られる疾患が増加してきています。肺炎の中でも高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防には、口腔ケアが有効であることが知られています。このプログラムで学ぶ医療人は、新潟大学医歯学総合病院が歯科も擁する大学病院であることの強みを生かして、医科歯科連携による口腔ケアへの対応を学ぶことができます。また、新潟医療福祉大学や新潟薬科大学との連携では、理学・作業療法士との連携による生活不活発病の予防や、言語聴覚士との連携による嚥下訓練や口腔ケアの充実、薬剤師との連携による薬剤アドヒアランスの向上など、これからの超高齢社会に向けて次世代の医療人が為すべき対応には枚挙のいとまがありません。

さらに、このプログラムではソーシャルキャピタル（地域力）に着目したリサーチも行います。これによって、どのような地域の要因が人々の健康長寿に影響を与えるのか、そしてその機序は、といった疑問に答えられることができるようになるかも知れません。また、このようなことに関心を持った総合診療医・医療人が育成されていくことで、超高齢社会を迎えつつある社会に資することができるようになって行くものと考えます。

STAFF

スタッフ



特任助教
朝川 勝明

こんにちは、次世代医療人育成センターの朝川勝明です。
私は呼吸器内科を専門としており、そのなかでも主に間質性肺炎などの「びまん性肺疾患」の診療にあたっております。この疾患領域は、特に肺の組織病理学的理解が必要とされ、呼吸器内科のなかでも敬遠される傾向がありますが、私は東京病院の病理部に生検標本・手術例・剖検例をたくさん診させていただく機会に恵まれましたので、この経験をもとに現在の日常診療にあたることができています。一方で、地域医療・総合診療という側面から見ると未経験なところが多く、当センターにおいてこれまでの診療経験がどこまで生かせるのかは未知数だと感じています。センターの皆様にご指導いただきながら臨床医としてお役に立てればと思います。何卒宜しくお願いします。



特任助教
鈴木 翼

はじめまして。次世代医療人育成センターの鈴木翼です。
私はソーシャルキャピタル調査や地理情報システム(GIS)を駆使した地域のリサーチを主に担当しております。大学院で公衆衛生学を勉強してきた経験から、個人を診る視点に限らず、集団を診る視点、そして社会を診る視点と幅広い見方を持った総合診療医を育てていきたいと考えております。また、これらの結果を現場や住民に還元することにより、よりよい地域づくりへもつなげられることを期待しています。



特任助教
黒川 亮

次世代医療人育成センター・歯科医師の黒川亮です。
日常の臨床では、患者様の背景を多角的に考慮したうえで、治療計画をたてることが重要です。われわれ歯科医療従事者も歯科医学以外のあらゆることを積極的に学ぶ必要があります。また多方面へ情報を発信していく責任があります。
この度、研修医の先生、学生さんと関わりをもつこととなりました。皆さんと、歯科についての情報を共有することで、次世代の医療がよい方向に進む手助けになればと思います。また、私にとっても新しい学びの場でありますので、皆さんからいろいろなことを教えてもらいたいと思っています。よろしくお願いします。



歯科衛生士
中井 恵美

はじめまして。歯科衛生士の中井恵美です。現在、入院患者さんを中心に口腔ケアのお手伝いをさせていただいています。歯科での治療に関連して生じてしまう口腔内の不快な症状を出来るだけ少なく、医科での治療がスムーズに進められるよう先生方のご指導を仰ぎながら携わらせていただいています。

皆様との出会いと繋がりを大切に微力ではありますが、お役に立てよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



歯科衛生士
田中 恵子

こんにちは。次世代医療人育成センターの田中恵子です。私は、歯科衛生士として、主に周術期の患者さんの口腔管理をさせていただいています。今までは、一般歯科・矯正歯科で従事させていただいていました。過去に「どうして今これをしているのだろう…？」などと疑問に感じながら仕事していた時期がありましたが、それがここ最近になり「あの時のこの経験が今のこの事に繋がっていて、無駄な事はないのだな…」と感じることが多くあります。人とのご縁もそのとおりで、皆繋がっているのだな…と感じております。皆様とこうして出会えた事も、この先に何があるのか楽しみです。どうぞ宜しくお願いいたします。

次世代医療人育成センター

次世代医療人育成センターは、新潟大学医歯学総合病院内にありますが関連する下記の学内講座、組織と密接に連携をとりながら事業を実施しています。

新潟大学医歯学総合病院

医師キャリア支援センター

総合臨床研修センター

医科総合診療部

新潟大学大学院

国際保健学分野

総合地域医療学講座

地域医療推進・教育学講座

魚沼基幹病院

地域医療教育センター

オール新潟による「次世代医療人」の養成

新潟大学では、これまでの取組みにより既にオール新潟の体制を構築しています。そこに、本プロジェクトにより新たに「次世代医療人育成センター」を設置し、専任教員を配置します。連携する新潟医療福祉大学、新潟薬科大学においてはアドバイザーを置き、3大学の連携により活動を展開していく予定です。また、新潟大学では医学生、研修医向けに「プライマリコース」「アドバンスドコース」の2コースを作成し、リサーチマインドを持った総合診療医の育成プログラムの強化を図っていきます。

Development Center of Medical Professionals for Next-generation



〈オール新潟〉＝人だけでなく多様な地域、組織、職種も含めた連携

新潟大学医歯学総合病院 次世代医療人育成センター

次世代医療人 養成コース

新潟大学医学生／疾病予防、健康増進および介護予防活動に関心を持つ医療系学生／総合診療医を目指す初期・後期研修医

医学科 プライマリコース

H26年度以降
5名/年

3年間

初期・後期研修医・大学院生
アドバンスドコース

H28年度以降
10名/年

5年間

- 医歯学連携、歯科衛生士、言語聴覚士等の連携による口腔ケア対策の学習（プライマリコース、アドバンスドコース）
- 口腔ケアチームへの帯同実習（プライマリコース）
- リハビリテーション科、理学療法士との連携による生活不活発病予防への対処（プライマリコース、アドバンスドコース）

地元自治体
住民

- 「健康ファイル」「連携ノート」などを通し「生活に寄り添い支える医療」の実践教育（アドバンスドコース）
- 「疾病・介護予防」「機能回復」をテーマとしたナイトスクールなど展開（プライマリコース、アドバンスドコース）
- ICT（GIS等）を駆使したソーシャルキャピタルに関する健康調査（プライマリコース）

佐渡プロジェクト
魚沼コホート
スタディ

- 学生時代からコホートスタディに関与することでリサーチマインドを醸成する（プライマリコース）
- 疫学リサーチを卒後も継続し、大学院の社会人入学も可能とする（アドバンスドコース）

● 新潟医療福祉大学
● 新潟薬科大学

- 訪問服薬指導、訪問リハビリなど在宅医療に関わる分野も経験し、地域に寄り添い支える医療を学ぶ（プライマリコース）

新潟県地域医師会

・医学教育・医師確保 等の面で緊密に連携

新潟医療人育成センター
（シミュレーションセンター）

- シミュレーター実習（プライマリコース）
- 高齢者疾患、特に心血管呼吸器疾患に対応したシミュレーター教育（アドバンスドコース）

魚沼基幹病院
地域医療教育センター

- 二次医療圏内の病院群を形成して総合診療専門医の養成プログラムを開発（アドバンスドコース）
- 超高齢地域における診療従事（アドバンスドコース）

『次世代医療人』の養成

予防的視点・機能回復そしてリサーチマインドを兼ね備え、「健康長寿社会の実現」に寄与する総合診療専門医

教育プログラム・コースの概要

≫「プライマリコース」

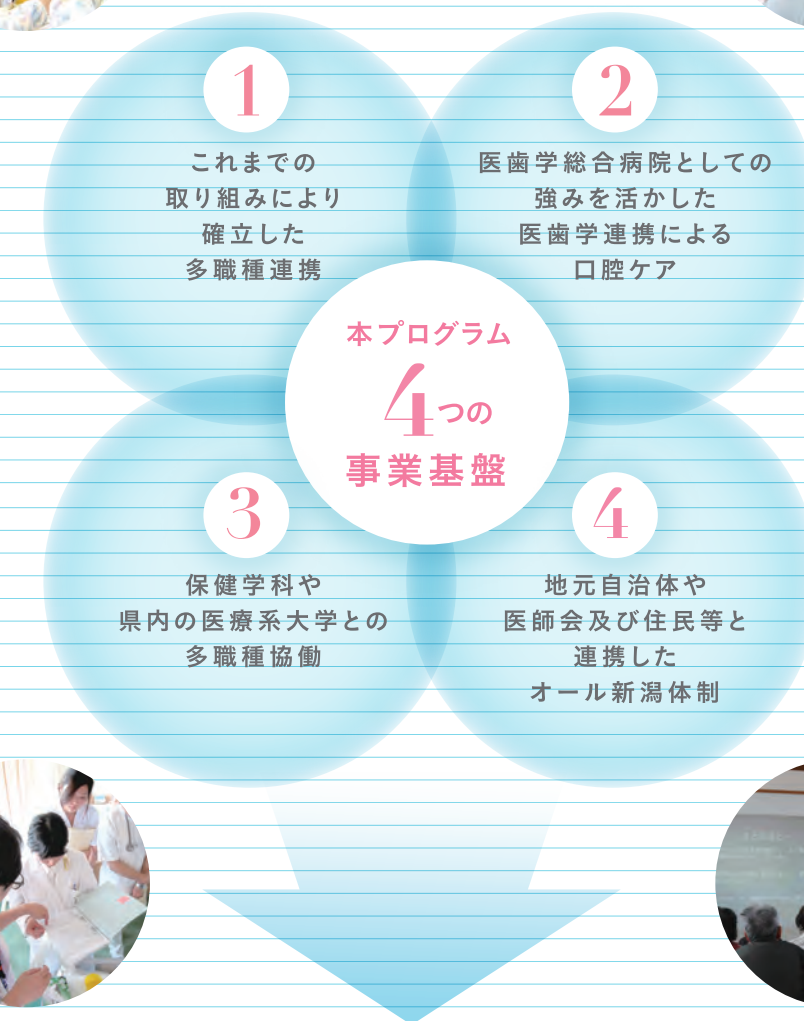
- 1 多様な社会をフィールドとし、ソーシャルキャピタル等を指標として活用しながら、県内の高齢化の進む地域でアンケートを実施し、高齢化に向かって必要とされるリサーチを行い、その結果を国内の各種学会で発表する。
- 2 連携大学の学生とともに、次世代医療人育成センターが開催するトータルヘルスケアワークショップとフィールドワークに参加し、口腔ケアや生活不活発病予防の重要性を学ぶ。
- 3 「口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防」に関する講義・授業や、運動機能回復による生活不活発病の予防に関する授業を受講し、高齢者の健康増進に関する意識向上を図る。

≫「アドバンスドコース」

- 1 高齢化地域における診療に従事し、口腔ケアを学び、関連の講義を受ける。生活不活発病に関しては、リハビリ部門との協働について学び、機能回復・介護予防の視点をもった医療人となる。
- 2 県内の多様な社会をフィールドとし、ソーシャルキャピタル等を指標としてICT（GIS等）を活用しながら、変容し多様化する高齢化社会に必要とされる臨床研究を学び、リサーチマインドの醸成を行う。



本プログラムでは
生活に寄り添い支える医療を目指します



幅広い総合診療能力に加えて、機能維持、機能回復の視点による生活不活発病予防などの予防活動を学ぶ、卒前、卒後の一貫した実践プログラムを設定し、今後急速に進む都市部の高齢化にいち早く取り組み、住民に寄り添うマインドや予防医療の視点、地域の課題に柔軟に対応する力を持ち、地域医療のリーダーとして活躍する「次世代医療人」を養成します。

▶▶ そして、日本の未来医療のモデルとなることを目指します。◀◀



未来医療研究人材養成拠点形成事業

オール新潟による 次世代医療人 の養成

Development Center of Medical Professionals
for Next-generation



—お問い合わせ—

新潟大学医歯学総合病院 次世代医療人育成センター

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754

Tel:025-227-0885 Fax:025-227-0886

URL : <http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/jisedai/>

e-mail : jisedai@adm.niigata-u.ac.jp